

ニューピアホール 照明詳細備考

2025/4/1

ブリッジ・サスについて

全てのブリッジはギャラリーより乗り込みが可能です。乗り込みの際はヘルメットと腰ベルトの着用をお願いします。ヘルメットと腰ベルトは4セットづつホールで用意してあります。サスのシュートはブリッジからは出来ませんので竿をお願いします。竿は一本しかありません。ブリッジの灯体吊り込み位置はかなり深くなっていてブリッジ下部にダウンライト等もあり、場所によっては当たりの厳しい事もあります。吊物機構平面図をご確認ください。吊り重量も記載してあります。全てのブリッジの下部に直接、器材を吊る事が可能です。ハンガー使用の場合、丸茂ハンガー系、ムービングスポットはC型ハンガー系だと直接吊り込み可能です。スポット分タッパが低くなるのでスクリーン使用の場合はスポットの影が出る可能性がありますのでご考慮ください。

バトンについて

バトンはカーテンレール等が着いているために直吊り出来ません。使用の場合はワイヤー・スリング等でパイプをケタ吊りしてください。ミラーボールなどのワイヤーで吊る器材は吊り込み可能です。ワイヤー・スリング・パイプはホールにはありません。

1BL/UHO

ブリッジ前側のみ灯体を吊り込み可能です。奥側はアッパーホリゾンが常設のため約8間分は吊り込みが出来ません。ブリッジ奥の下場にケタ吊りパイプが常設してあり吊り込み可能ですが吊り込み重量が150KGまでとなっています。

2BL/2(客席側)

2ブリッジの前側の頭上に天井スピーカーがセンターと上下3間半の位置にありますのでブリッジをタッパまで上げるとぶつかりますのでスピーカー位置への吊り込みは出来ません。

3BL/2(客席側)

3ブリッジの前側は基本的に吊り込みが不可能です。前側に天井の梁に当たるため吊り込みすると上げられません。吊り込みの場合はボードハンガーで下ろすか上記同様にブリッジ下場に直接吊り込み可能です。

ブリッジ・サス回路について

ブリッジ・サスに関してはミニC型になっています。前後は別、上下は同回路です。各ブリッジ・サスには直用の60A C型があり、30Aの変換が入っています。ブリッジによって30A口数が変わりますが2口～4口がブリッジの奥側に固定されています。口数に関わらず60Aです。もう1口の60Aはブロード(客電ハンチタイプ)で使用してあります。直で使用出来る60Aは1口ですが全てのディマー回路が直切り替え可能です。ユニット室での切り替えになります。

ステージ・ギャラリー回路について

ステージ・ギャラリー回路の場所は舞台照明設備図を参照してください。WC・GWCは30AC型と20AC型が両方が出ています。FCIに関しては30AC型のみです。ステージ奥の上下のWC位置に直用の60A C型が1口づつあります。ギャラリーには4カ所に30A C型の直があります。ステージ・ギャラリーに関しても直切り替え可能です。

DMX・持ち込み卓について

ブリッジにDMXの口がありますが、ブロードど一般照明が混在していますので、持ち込み器材のDMXはギャラリーのDMXの口まで引いてください。ステージにはDMXの口はありません。(ステージで使用の場合はギャラリーに立ち上げ上げてください。)調光室にパッチ盤がありますので、そこから持ち込み卓まで引いてください。調光室パッチ盤には空きスプリッターが1台(4口)がありますので、ギャラリー口をまとめる場合はお使いください。持ち込み卓が客席の場合、調光室パッチ盤より隣の映写室の窓より信号線を下ろしてください。ホールディマーに関しても同様でパッチ盤より引いてください。パッチアウトも可能です。客席レイアウトにもありますが25m程度の距離となります。卓電源は映写室内に30A直が4口ありますので同じく下ろしてください。

スモークについて

油性スモークを使用の場合は消防申請をしてください。水溶性・油性スモークを使用の場合、事前にホールへご連絡ください。

卓について

2024年1月より、松村電機 F105 II に代わりました。 <https://www.matsumuradenki.co.jp/archives/products/f105ii-3>
フェーダー数 2段 60本(ジョイント120本) サブマスター20本
*パッチアウトも出来るようになりました。

確認事項や乗込み時の事前打ち合わせ、仕込み図の共有などございましたら下記アドレスまでご連絡くださいませ。

info@newpier-hall.jp

ニューピアホール

〒105-0022 東京都港区海岸1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー1F

TEL:03-3578-0041 FAX:03-3578-0042